

桂高校跡地利活用策の提言書が提出されました



3月23日、県立桂高等学校跡地利活用に関する検討有識者会議から、都留市長へ「県立桂高等学校跡地利活用に関する提言書」が提出されました。

この有識者会議では、平成26年度末をもって使用停止となる県立桂高等学校の跡地利活用策について、有識者の方々に様々な角度から検討していただきました。また、2月に市内5か所で開催した「未来を拓く都留まちづくり会議」において市民の皆様からいただいた意見なども参考に、「提言書」がまとめられました。

提言書では、『学生人口の拡大』や『地域経済の活性化』に貢献する大学ないし、専修学校などの「高等教育機関の施設」として利活用することが相応しく、その専攻は「看護師養成系」が望ましい』、との意見が示されました。

この提言を受け、市では都留文科大学への新学部設置、新たな学校法人の誘致などを視野に、課題を検討し、活用策を決定していきます。

Tsuru Topics

玉川グラウンドを、人工芝生化しました



■(上) テープカットの後のキックオフです！！
 ■(左) 子どもたちもフカフカのグラウンドで早速サッカーをプレーしました。

昨年9月から工事をしていた、都留市都市公園玉川グラウンドの全面人工芝化が完了し、4月7日に落成式を行いました。

玉川グラウンドは、クレーグラウンドに人工芝を敷設するとして、スポーツ振興くじ(toto)の採択を受け、建設を進めてきたものです。

構造は、アスファルト舗装の上に人口芝を敷設し、砂・ゴムチップを敷いたものとなっています。

グラウンドは5,000㎡で、サッカーコート1面と、フットサルコート2面が取れるようになっています。

落成式当日には、テープカットの後、始球式として都留市長、都留市議長、都留市教育委員、教育委員長、職務代理者、体育協会会長によるキックオフが行われました。

また、式典終了後には、地元サッカーチームによる親善試合も開催されました。